



“未来へつづく、水とみどりにあふれた
健康で心やすらぐまち”をめざして



2019

5.15

Vol.11

エコシティ八王子

ーはちおうじの環境をみる・きく・考えるー

あなたのまちも、
あるけるまち。 **八王子**

2019八王子環境フェスティバルを開催



↑ごみクレーン体験(北口西放射線ユーロード)
ごみクレーン体験で景品をゲット！

和太鼓演奏(横山町公園・南口とちの木デッキ)
和太鼓の合図とともにスタート！↓



「燃料電池機関車」乗車体験(南口とちの木デッキ)
燃料電池機関車に乗ろう！↓

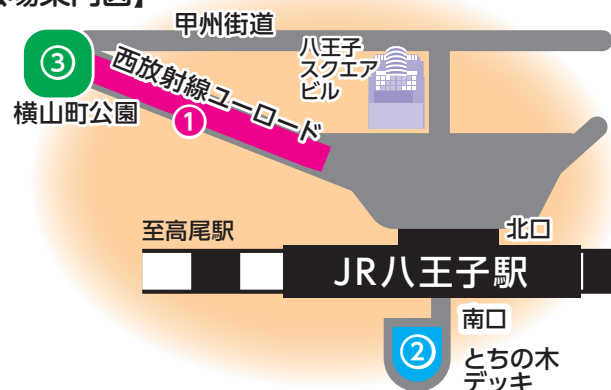


↑ご当地キャラクター大集合！(横山町公園)
お気に入りのキャラクターを見つけよう！

毎年環境月間である6月の第一土曜日に、市民や事業者の皆さんとともに、「八王子環境フェスティバル」を開催しています。
今年は6月1日(土)に八王子駅北口西放射線ユーロードと南口とちの木デッキにて、午前10時から午後5時まで開催します。

主な出展ブース・イベント	会場	
★環境発見スタンプラリー 午前10時から 北口800名 南口800名(先着)	①	②
★環境体験型ブース		
花苗の配布	①	②
木工ワークショップ	①	
自転車発電ブース	①	
★イベント会場催しもの		
ゲンキダー Jパフォーマンス		③
ぼくらの八王子バラエティショー	②	③
ライブパフォーマンス	②	③

【会場案内図】



問い合わせ 環境政策課(☎620・7384、☎626・4416)

豊かなみどりを次世代に ～「みどりの保全基金」にご協力を～

市内の貴重なみどりを市民共有の財産として保全し、緑化の推進を図るための必要な資金を積み立てるため、「みどりの保全基金」を設置しています。

八王子の最大の魅力である尊いみどりを次世代に継承するために、皆様からの貴重なご寄附をお待ちしています。



問い合わせ 環境保全課 ☎620・7268、☎626・4416

環境市民会議の会員を募集

市内の6つの地区に分かれ、市民・事業者の皆さんが主体的に環境保全活動を実践している環境市民会議。地域の身近な環境を良くしようと活動しています。

地区内に在住・在勤・在学の方ならどなたでも参加できますので、皆さんのご参加をお待ちしています。



【主な活動】

- 小中学校への教育支援
- 省エネ啓発講座
- 里山保全活動
- 地区の環境調査など

問い合わせ 環境政策課 ☎620・7384、☎626・4416

下水道への接続できれいな川を!

下水道が整備された地域では、くみ取りトイレや雑排水を速やかに下水道へ接続しなければなりません。しかし、平成30年度末時点で4,112件もの未接続物件があります。未接続物件からの生活排水は川を汚す原因になるほか、くみ取りトイレや適切に管理されていない浄化槽の排水による悪臭の苦情が市に多く寄せられています。

市では下水道接続をさらに推進するため、「下水道接続指導要綱」を策定しました。

対象となる未接続物件所有者に対し「特別指導」などにより下水道接続を強く求めるほか、悪質な所有者はその氏名などを公表することがあります。

1日も早い下水道接続をお願いします。

問い合わせ 水再生施設課 ☎656・2282、☎644・2411

浸透ますの設置にご協力を

八王子市は浅川をはじめ市内を水源とする16の一級河川と、78の湧水地を持つ水のまちです。市では河川や湧水の水量を確保するため、雨水を地中に浸透させる雨水浸透施設の設置に最大9割（上限270,000円）、雨水を貯めて利用する雨水貯留槽に最大5割（上限30,000円）の補助金を交付しています。



▲市役所1階市民ロビー等に見本を設置

雨水を地中へ浸透させることで地下水をかん養するとともに、ゲリラ豪雨など都市型水害の抑制にも役立ちます。また、雨水貯留槽の水を庭の水遣りなどに使うことで水道代の節約になるほか、災害時への備えにもなります。

雨水を地中へ浸透させることで地下水をかん養するとともに、ゲリラ豪雨など都市型水害の抑制にも役立ちます。また、雨水貯留槽の水を庭の水遣りなどに使うことで水道代の節約になるほか、災害時への備えにもなります。

なお、雨水浸透施設補助金は申請前に現地調査が必要となります。詳しくは水環境整備課へお問い合わせください。

豊かな水環境実現のため、ご協力をお願いします。

問い合わせ 水環境整備課 ☎620・7388、☎626・3019



▲河川に流れ込む生活排水



▲誰もが安心して遊べる川に

はちエコポイントに参加してみよう!

「はちエコポイント」とは、家庭における省エネ等の環境にやさしい行動の実践と定着を支援するため、エコアクション(環境配慮行動)の取り組みに対してポイントを付与し、そのポイントを商品と交換することで、CO₂排出量の削減を促進する地球温暖化対策の取り組みです。みどりのカーテンコンテストへの応募や、省エネ講座・イベントへの参加等をポイント付与対象行動としています。詳しくはクールセンター八王子のホームページをご覧ください。

みどりのカーテンコンテスト

・コンテスト応募で4P

ツル性の植物を窓際にはわせることで、夏の陽ざしを遮り、部屋の温度を下げる効果のある「みどりのカーテン」。皆さんの力作をコンテストに出してみませんか。入賞者には賞状と副賞を進呈します。

●対象 市内で今年植えたツル性の植物を使い、みどりのカーテンを設置している方や団体(戸建住宅部門・集合住宅部門・団体部門の3つの部門でそれぞれ審査を行います。)

●応募用紙の配付場所 市役所2階環境政策課、各事務所・図書館・市民センター、クールセンター八王子

●申し込み 応募用紙に必要事項を記入し、直接、郵送またはEメールでクールセンター八王子へ

●応募期間 7月2日～8月31日



▲平成30年度最優秀賞(戸建住宅部門)

家庭の省エネ講座

・講座への参加で2P

今年もやってくる夏の猛暑にあたり、誰でも簡単に出来る省エネ・節電についての身近でお得なお話をします。

対象：市内在住・在勤・在学の方

日時：6月12日(水)午後2時00分～3時30分

会場：子安市民センター 会議室①(3階)

定員：40名(申し込み先着順)

申し込み：電話、または「省エネ講座」と住所・氏名(ふりがな)・電話番号を書いてハガキ、ファックス、Eメールでクールセンター八王子へ

※みどりのカーテンコンテスト及び家庭の省エネ講座は、はちエコポイントへの登録を行わなくても参加できます。



はちおうじ省エネ国
キャラクター
えこちゃん・グリちゃん



開所時間 午前9時～午後5時(土日祝及びあったかホール休館日を除く)
☎656・3103、☎649・2118 ✉info@coolcenter802.tokyo
ホームページ <http://coolcenter802.tokyo/>

地球温暖化防止活動推進員の活用を!

推進員は、市内の地球温暖化の現状や地球温暖化対策に関する普及啓発の活動を行っています。「会社や町会、学校などで温暖化防止や省エネ・節電対策についての説明や講演をしてもらいたい。」そんなときは、推進員の派遣を活用してみたいはいかがでしょうか。希望される方は、お気軽にクールセンターへご相談ください。



▲町会の皆さんを対象に「家庭の省エネ教室」

日本古来の自然を保全する

畑や田んぼ、それらを取り囲む雑木林などの自然と人が共生する環境のことを「里山」といいます。里山は、人が手を加えながら、エネルギー源としての薪や炭、木材を採取し、肥料や家畜飼料などを地域の人々が利用することで、その姿を維持してきました。

しかし、人々のライフスタイルが変化するにつれて、里山は放棄され、消失の危機にあります。日本古来の里山を保全するために、できることから始めてみませんか。環境政策課では、市民の皆様が気軽に参加できる里山や森林でのイベントを企画していきます。興味を持った方は、お気軽にお問い合わせください。



▲上川の里特別緑地保全地区

問い合わせ 環境政策課 ☎620・7384、☎626・4416
✉b110400@city.hachioji.tokyo.jp

1人1日あたりのごみ排出量の少なさランキング

●全国第1位！ (環境省発表 平成29年度実績)

八王子市の平成29年度1人1日あたりのごみ排出量は777gとなり、前年と比べると、22g減少しました。その結果、人口50万人以上の都市の中でごみを出す量の少なさが2年ぶりに**全国第1位**となりました。これは市民や事業者のみなさまの、ごみ減量・資源化へのご協力のおかげです。引き続き、ご理解・ご協力をお願いいたします。

1位に
振り返り



●スプレー缶類は使い切って穴を開けずに「有害ごみ」に

不燃ごみに混入した中身(ガス)が残ったままのスプレー缶類が原因と思われる収集車の火災が多数発生しています。

スプレー缶類は、**必ず使い切って、穴を開けずに「有害ごみ」**としてお出してください。中身の入ったスプレー缶類の処理にお困りの場合は、ごみ総合相談センターまでご相談ください。



使い切って



穴を開けずに



透明・半透明の袋に入れて「有害ごみ」に



▲消火活動の様子



▲焼け跡から出たスプレー缶

問い合わせ ごみ総合相談センター ☎0570・550・530 ナビダイヤルがご利用できない場合は ☎696・5377、☎692・0900

災害時にもごみの分別を

近年、全国で大規模な災害が多発し、がれきや家具、家電等大量の「**災害廃棄物**」が発生しています。

災害時は、効率的な処理が早期復興の大きなカギとなります。そのため、災害時にもごみの分別が必要となります。

ごみの出し方は、被災状況に応じてホームページなどでお知らせします。



平成29年九州豪雨による災害廃棄物
出典：環境省ホームページ

▲一次仮置場：家電製品等を分別して仮置きします

問い合わせ

清掃施設整備課 ☎620・7461、☎626・4506

太平洋の島国で国際協力

ミクロネシア連邦チューク州にて、平成29年から3年間、JICA(独立行政法人国際協力機構)の「草の根技術協力事業」として、ごみ問題改善に取り組んでいます。

これまで4回にわたり現地派遣を行い、ごみ収集・車両整備の技術指導や、協力大学の創価大学と共に2R(リデュース・リユース)の啓発活動等を実施しました。このうち今年2月の派遣では、現地NGOと連携してマイバッグを作成・配布し、スーパーマーケットでレジ袋を削減するための啓発イベントを行いました。

最終年となる今年は、2回のミクロネシア派遣のほか、6月に現地関係者を日本に招き、本市の取り組みを学んでいただく研修や、市内小学校等との交流を予定しています。詳しくはホームページをご覧ください。



▲現地での啓発イベントの様子

問い合わせ

ごみ減量対策課 ☎620・7256、☎626・4506

